

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成18年度	
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	01	やさしさあふれるまちづくり
	小項目	03	障害者(児)福祉
事務事業名		17	障害者相談員委託事業
		根拠法令・例規等	
		問 担当課(室)	社会福祉課
		合 職・氏名	障害者福祉係長・大道健一
		先 電 話	64-1824
		このシート作成に要した時間	2.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	身体に障害のある方、知的障害のある方、その家族など。
目 的 (何のために)	身体に障害のある者の更正援護の相談に応じ、必要な指導を行い、福祉増進に資する。又、知的障害者又はその家族からの相談に応じ、必要な指導・助言を行い福祉増進を図る。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	医療・就職・年金・施設・家庭などの日常生活に関係した専門知識を必要としない相談については、相談員で対応していくことにより、少しでも多くの障害者やその家族を支援していきたい。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	身体障害者相談員委託業務	身体及び知的に障害のある者・家族の更正援護の相談に応じ、必要な指導を行い、福祉増進に資する。相談員は身体障害者相談員11名、知的障害者相談員5名	
	知的障害者相談員委託業務		

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		490	490	490	
	必要人員(人件費)	千円	0.02人	199	0.02人	198
	事業費		689	688	701	
	国 県 支 出 計		490	490	490	
	受 益 者 負 担					
	財 源	千円				
繰 入 金 債						
そ の 他 ( )						
一 般 財 源			199	198	211	
受 益 者 負 担 比 率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
相談・指導件数	説明		身体及び知的障害者相談員が1年間に行った相談・指導件数			
結果指標量	事業		361	308	232	
対前年比	%		-	85.3%	75.3%	
活動コスト			689,000	689,000	701,000	
単位当たりコスト	円		1,909	2,237	3,022	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
相談・指導件数	目標値(A)	384	384	384	384
	実績値(B)	361	308	232	到達目標値
	達成率(B/A)	94.01%	80.21%	60.42%	400
成果指標設定の考え方・式や説明					
身体及び知的障害者相談員が1年間に行う相談及び指導件数 (最低 2回/月×12ヶ月=24回×16人=384回)					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E>  <b>B</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E>  <b>B</b>
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E>  <b>B</b>	

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	身体障害者相談員11名、知的障害者相談員5名の計16名で活動を行っている。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
相談員は、障害者にとって身近な相談者として今後も必要な存在である。相談員によって相談件数にはばつきがあるが、もっと積極的に障害者やその家族のために活動していただけるよう働きかけていきたい。	評価区分 <A~E>  <b>B</b>	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	県からの委託事務であり現状維持で実施するが、機会を捉え少しでも多くの障害者やその家族の支援をしていきたい。					

Action